

平成 2 2 年度

事業報告並びに収入支出決算書

平成 2 3 年度

事業計画並びに収入支出予算書



ほら、
よこはまほ
ろったがし



社会福祉法人

横浜市磯子区社会福祉協議会

目 次

		頁
1	平成 22 年度 事業報告	1
2	平成 22 年度 いそごふれあい助成金交付団体一覧表 【別表 1】	2 0
3	平成 22 年度 年末たすけあい募金配分内訳 【別表 2】	2 4
4	平成 22 年度 善意銀行金銭預託結果 【別表 3 - 1】	2 7
5	平成 22 年度 善意銀行預託金配分結果 【別表 3 - 2】	2 8
6	平成 22 年度 善意銀行物品預託・配分結果 【別表 3 - 3】	3 1
7	平成 22 年度 子育てサポートシステム活動報告 【別表 4】	3 2
8	平成 22 年度 磯子区災害ボランティアネットワーク活動報告 【別表 5】	3 4
9	平成 22 年度 磯子区福祉保健活動拠点 事業報告	3 6
10	平成 22 年度 磯子区福祉保健活動拠点 収支決算書	4 3
11	平成 22 年度 一般会計 資金収支計算書総括表	4 4
12	平成 22 年度 一般会計 資金収支計算書	4 5
13	平成 22 年度 一般会計 資金収支決算内訳表	4 8
14	平成 22 年度 一般会計 事業活動収支計算書総括表	5 6
15	平成 22 年度 一般会計 事業活動収支計算書	5 7
16	平成 22 年度 一般会計 事業活動収支内訳表	6 0
17	平成 22 年度 一般会計 貸借対照表	6 8
18	平成 22 年度 財産目録	6 9
19	平成 22 年度 監事監査報告	7 0
20	平成 23 年度 事業計画	7 1
21	平成 23 年度 磯子区福祉保健活動拠点 事業計画	8 0
22	平成 23 年度 磯子区福祉保健活動拠点 収支予算書	8 7
23	平成 23 年度 一般会計 資金収支予算書総括表	8 8
24	平成 23 年度 一般会計 資金収支当初予算書	8 9
25	平成 23 年度 一般会計 資金収支予算内訳表	1 0 7

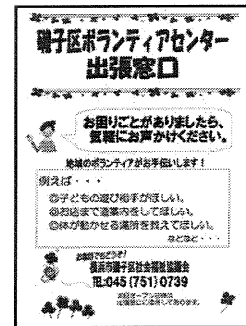
1 ボランティア・市民活動への支援

1-1 ボランティアセンターの運営

1. ボランティアセンター事業

- (1) ボランティアに関する相談の実施
 - ボランティア活動についての相談 227件(前年度 90件)
 - ボランティア依頼についての相談 146件(前年度103件)
- (2) ボランティアコーディネートの実施(送迎を除く)
 - 単発依頼88件、紹介件数延べ179名(前年度50件、延べ248名)
 - 継続依頼18件、紹介件数延べ155名(前年度28件、延べ216名)
- (3) ボランティアの登録(平成23年3月31日現在)
 - 個人登録 640名(男性240名、女性400名)
(前年度552名(男性207名、女性345名))
 - グループ登録65グループ(前年度登録数56グループ)
- (4) 広報・啓発
 - 「ボランティアニード情報」の作成・発行
ボランティアセンターに寄せられたボランティアニード情報や活動内容などを個人登録者に送付のほか、区役所や区内地域ケアプラザ等の関係機関に広く配布した。
 - 定期情報 4回発行(登録者あて約300部/回、関係機関あて約300部/回)
 - 臨時情報 2回発行(登録者あて約300部/回、関係機関あて約300部/回)
- (5) 東日本大震災避難者関係
 - 3月11日(金) 東日本大震災発生
 - 3月18日(金) 活動志願者からの電話受付開始
(3月31日現在112名受付)
 - 3月19日(土) たきがしら会館の避難者受入開始
 - 3月25日(金) 月・水・金曜日の午前中、会館内にボランティアセンター出張窓口設置(事務局職員2名と、地区民生委員児童委員やボランティアグループメンバーとで対応)

上記のほか、義援金や被災地支援に関する問い合わせ対応、ボランティア活動保険加入手続きを行った。



2. ボランティアセンター運営委員会(計2回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月26日(月)	こすもす広場	13名	事業報告及び計画、善意銀行
2	平成23年2月16日(水)	(区福祉保健活動拠点)	9名	預託金配分内容の審議、承認

1-2 ボランティア・市民活動支援

1. ボランティア講座の企画・開催

	事業名 (共催、協力)	目的・内容	開催日	参加者数
1	発達障がい理解講座 「会える！話せる！聞ける！」	発達障がいについて学び、福祉施設等でのボランティア活動に役立てた。	平成22年7月10日(土)	15名
2	ボランティア体験講座 「できることから☆ボランティア」 (区民活動支援センター)	ボランティア活動を希望する市民を対象にボランティアへのきっかけ作りを行い、裾野の拡大を図った。	平成22年10月4日(月) ～ 平成22年11月1日(月) (全3回うち1回体験実習)	25名

1
ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア
・
市
民
活
動
へ
の
支
援

	事業名 (共催、協力)	目的・内容	開催日	参加者数
3	ボランティア交流事業 「グラウンドゴルフ大会」	ボランティア・市民活動 関係分科会メンバーの交流 を図った。 会場：久良木公園	平成22年10月12日(火)	44名
4	ボランティア・市民活動関 係分科会「認知症サポ ーター養成研修」 (磯子地域ケアプラザ)	認知症やボランティア活 動に関心のある区民を対象 に、寸劇を通して認知症へ の理解を深め、地域での支 えあいを目指した。	平成22年12月13日(月)	24名
5	精神保健福祉ボランティア 入門講座(全4回) (磯子区役所、磯子区生活 支援センター)	当事者の講話や地域作業 所での実習を通して、精神 障害者や精神保健に関する 理解を深め、ボランティア 活動の裾野を広げた。	平成22年11月11日(水) ～ 平成22年12月16日(木) (うち1回は体験実習)	20名

2. ボランティアグループの支援

(1) 区ボランティアグループ連絡協議会の充実・強化

○定例会(毎月第1火曜日開催)の開催支援

内容：加入グループの情報交換や福祉ニードの調整など

○連絡協議会活動費の助成 115,000円(善意銀行配分金→26頁【別表3-2】参照)
50,000円(区社協独自財源)

(2) 区内ボランティアグループの組織化と連携活動の推進、充実

○いそごふれあい助成金による活動支援(いそごふれあい助成金→20頁【別表1】参照)
交付事業数112事業、交付総額7,936,600円

○年末たすけあい募金配分金による活動支援
(年末たすけあい募金配分金→22頁【別表2】参照)

24グループへ計600,000円

○善意銀行預託金による活動支援(善意銀行預託金配分→26頁【別表3-2】参照)
29グループへ計359,000円

3. 市民参加型福祉団体連絡会開催支援

○開催回数 4回

○主な内容 各団体の活動状況の情報交換・意見交換の場を主とした7団体の連絡会に
オブザーバーの立場で参加した。

4. ふれあい型配食サービス連絡会開催支援

○開催回数 3回

○主な内容 6グループが参加。活動の参考となるような他施設の見学会の企画や
情報交換の場を提供した。

1-3 福祉教育の推進

1. 福祉教育プログラムの支援・福祉教育連絡会

区内小・中・高等学校における福祉体験講座への協力

ボランティア・当事者とともに、「総合的な学習の時間」における各種福祉講座への講師紹
介、講座内容検討、実施の協力を行った。

【協力した学校】小学校7校・11講座、中学校2校・9講座、高等学校1校・1講座

学校名	講座名	実施時期
滝頭小学校	手話講座	平成22年9月 平成23年1月
洋光台第四小学校	視覚誘導講座、車イス講座	平成22年10月
洋光台第一小学校	点訳講座	平成22年11月
	車いす講座、視覚誘導講座	平成23年1月
杉田小学校	手話講座	平成22年12月
浜小学校	高齢者疑似体験講座	平成22年11月

1 ボランティア・市民活動への支援

学校名	講座名	実施時期
さわの里小学校	手話講座	平成23年1月
磯子小学校	視覚・聴覚障害がある方の講話	平成22年11月
	認知症サポーター養成講座	平成23年2月
根岸中学校	車イス講座	平成22年6月
	視覚誘導講座、手話講座、高齢者疑似体験講座	平成22年11月
岡村中学校	点訳講座、録音ボランティア講座、手話講座、車イス講座、視覚誘導講座	平成22年11月
横浜学園高等学校	車イス体験講座・車イスの生活について(講義)	平成22年5月

2. 「先生のための福祉講座」の開催(市内18区社協合同開催)

総合的な学習の時間において、福祉教育が取り上げられる機会が増えている背景を踏まえ、学校教員が地域福祉や当事者への理解を深め、今後のプログラム開発に役立ててもらおう目的で開催した。

○実施期間 平成22年7月28日(水)～8月9日(月)

○内容

- <導入講座> 「効果的な福祉教育を目指して」
- <テーマ別講座> ①「ほかの単元・学年・地域とのつながりを意識した授業作り」
- ②「すぐに使える体験型福祉教材～わくわくワーク～」
- ③「クラスでそのまま使えるプログラムを作ってみよう
～赤い羽根共同募金をとおして地域の中にある『ふ・く・し』を知ろう～」
- ④「『障害』理解のためのプログラムづくり」

○参加者数 延べ157名

3. 中学生・高校生福祉施設体験学習「サマボラ2010」

区内中高生を対象とした、夏休みの福祉施設でのボランティア体験講座を開催した。体験を通して自身を取り巻く社会的な環境について学び、またそれぞれの抱える問題点に触れることで社会的な関心を高めることを目的として行った。

- 担当教員説明会 平成22年6月9日(水)
- オリエンテーション ①平成22年7月26日(月) ②平成22年7月27日(火)
- 施設体験 平成22年7月28日(水)～8月24日(火)
- 体験振り返り ①平成22年8月24日(火) ②平成22年8月25日(水)
- 参加決定者数 125名(前年度103名)
- 修了者数 108名(前年度89名)
- 参加受け入れ施設数 33施設(前年度27施設)

4. 福祉機材の貸出

福祉機材の貸し出し実績

機材名	件数	貸出数	機材名	件数	貸出数
1 自操式車イス	32	120	5 高齢者疑似体験セット	5	32
2 介助用車イス	8	8	6 点字器	4	158
3 白杖	5	95	7 ゴーグル	4	33
4 アイマスク	4	111			

1-4 善意銀行の運営

1. 善意銀行(金品の寄付受け入れ及び配分)

地域の個人・団体や企業等の皆様から多くの金品をご寄付いただき、区内福祉施設への配分や福祉事業への助成等を行った。

(1) 寄付金品の受託と配分

○金銭預託 (→25頁【別表3-1】、26頁【別表3-2】参照)

- ・預託金総額(51件)1,361,115円(前年度1,670,867円)
- ・配分金総額(98件)2,248,000円(前年度3,336,000円)

○物品預託・配分 (→29頁【別表3-3】)

- ・預託物品数 9件
- ・配分物品数 8件

(2) 寄付金品の配分審査を行うボランティアセンター運営委員会の開催
計2回(→17頁参照)

1-5 災害時のボランティア支援

1. 災害ボランティアネットワーク支援(→32頁【別表5】参照)

1-6 いそごふれあい助成金事業

区内の地域福祉や障害福祉を推進する団体等に、申請に基づき助成を行った。

- (1) 周知・広報
共同募金会広報「あかいはね」(全戸配布)、本会及び横浜市社協ホームページに掲載した。
- (2) 平成23年度説明会(平成23年3月16日(水開催))
こすもす広場(区福祉保健活動拠点)多目的研修室 参加者58名
- (3) 日程
○申請期間/平成22年4月12日(月)～4月23日(金)
○審査会/平成22年6月21日(月)
- (4) 助成状況(→20頁【別表1】参照)
○助成総額 7,936,600円(うち5,101,600円は区社協財源)
○助成事業数 112事業

1-7 年末たすけあい配分事業(団体配分)

区内の当事者団体やボランティア団体、福祉施設等に対して配分を行った。

- 配分総額 2,125,000円
- 配分団体数 68団体 (→22頁【別表2】参照)

1-8 区福祉保健活動拠点運営

1. 区福祉保健活動拠点運営事業

福祉保健活動拠点は、ボランティア団体や障害者団体等当事者団体など、福祉保健に関わる活動を行う個人・団体が会議や講座・研修会等の開催および事務作業等で利用するための施設であり、その管理・運営を区から委託を受け実施。平成22年度は、次期(平成23年度～27年度の5年間)指定管理者に公募し、審査の結果引き続き指定を受けることができた。また、ボランティアセンターではボランティアの情報収集・提供業務、相談・紹介業務、ボランティア講座開催等による人材育成・支援業務を行った。

◎拠点貸し館利用実績

	使用件数(時間帯別)			
	午前	午後	夜間	計
団体交流室	89	125	9	223
多目的研修室	138	164	23	325
点字製作室	72	88	5	165
録音室	105	117	9	231
対面朗読室・編集室	145	181	11	337
年度合計	549	675	57	1281

団体別利用実績(延べ件数)	
ボランティア団体	821
当事者団体	161
その他	299

2. 利用調整会議の実施

拠点の利用方法の確認や、サービス向上に向けての要望確認、団体間の情報交換による交流を図るため、登録団体による利用調整会議を実施した。

- 日時：平成22年9月22日(火)10:00～12:00
- 場所：こすもす広場(区福祉保健活動拠点)多目的研修室
- 参加団体数：30団体
- 内容：平成22年度利用実績、拠点利用の確認、救急法ミニ講座

2-1 地区社協活動・運営の支援

1. 地区社協会長・事務局長会議の開催(計3回)

	開催日	開催場所	参加者数	主な審議内容
1	平成22年7月9日(金)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	17名	①平成21年度事業報告・収支決算および平成22年事業計画・収支予算について ②みんな集まれ!「ふくしの広場」開催について ③地区社協研修会について 結果:すべて承認された。
2	平成22年9月24日(金)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	19名	①みんな集まれ!「ふくしの広場」のサロン運営について ②地区社協研修会(市域、区域)について 結果:すべて承認された。
3	平成23年2月3日(木)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	16名	①理事・評議員任期満了に伴う次期候補者の推薦について ②広報誌編集委員任期満了に伴う次期委員の選出について ③地区社協分科会の立ち上げについて ④地区社協研修会の報告について 結果:すべて承認された。

2. 地区社協研修会の開催

(1) 区域研修会

- 日程/平成22年12月7日(火)
- 会場/ホテル横浜ガーデン
- 参加者/地区社協等51名、事務局5名(合計56名)
- 内容/第1部:地域づくりの知恵ぶくろ!~地区社協イチオン事業事例紹介等~
講師・横浜国際福祉専門学校顧問 豊田宗裕 氏
第2部:各地区社協の活動報告、情報交換
- 結果/豊田講師による『地区社協の役割について』の講義があり、2地区社協の事例発表においてそれぞれの地域特性を活かした活動事例が発表された。また地区社協間での交流が図れ、活動の活性化につながった。

(2) 市域研修会

- 日程/平成22年12月6日(月)
- 会場/新都市ホール
- 参加者/地区社協役員等23名
- 内容/テーマ:「ご近所づきあい・たすけあい~わたしたちにできること~」
パネルディスカッションによる地区社協取り組み紹介
- 結果/他区の取り組み実践事例を学び、今後の地区社協運営の参考となった。

3. 地区社協との連携

(1) みんな集まれ!「ふくしの広場」のサロン運営

- 日程/平成22年10月24日(日)
- 場所/こすもす広場(磯子区福祉保健活動拠点)、地区センターの体育館および駐車場、磯子地域ケアプラザ
- 目的・内容/地区社協活動のPRを目的として実施した。ときめき交流サロン(手あそびコーナー、おしゃべり広場)を異世代交流の場として10地区合同で運営、従事者数32名

(2) 地区社協活動の広報の充実

- 「地区社協だより」を区社協情報紙「福祉いそご」へ掲載(年2回)
平成22年10月・平成23年3月発行、区内全戸配布
- 「地区社協だより」の区社協ホームページへの掲載(年2回)

(3)活動状況の把握と共有化

地区社協別にファイルにて情報を集約し、出席会議の記録等をつづり、地区社協活動の状況把握を行った。

4. 助成金やネットワークによる活動支援

(1)地区社協(10地区)活動運営費助成

- 市社協交付金(1地区50,000円) 計 500,000円
- 地域福祉活動費(会費の50%) 計2,675,150円

(2)事業費助成

いそごふれあい助成金による事業助成(→22頁【別表1】参照)

(3)ひとり暮らし高齢者会食型食事サービス活動の組織化と支援

ひとり暮らし高齢者等を対象に、地区社協の構成団体が食事作りボランティア活動を通じ、地域での支援ネットワークを構築し、地区社協活動への住民参加の機会をつくるための活動に対する支援を行った。

- 実施地区/根岸地区社協、滝頭地区社協、岡村地区社協、磯子地区社協、汐見台福祉実行委員会、屏風ヶ浦地区社協、杉田地区社協、上笹下連合社協、洋光台地区社協、上笹下地区社協

2 2-2 地域福祉保健計画の推進

1. スイッチON磯子の推進

磯子区と一体的に策定した磯子区地域福祉保健計画(スイッチON磯子)を推進するとともに、磯子区と共に第2期計画策定委員会を開催した。

	会議名	開催日	開始場所	参加者数	主な審議内容・結果
1	第4回策定委員会	平成22年6月7日(月)	区役所701号会議室	22人	①策定の経過と今後のスケジュールについて ②計画素案への意見募集状況について ③新しい補助制度の検討案について ④地区別計画案の作成と提出について 結果：すべて承認された。
2	第5回策定委員会	平成22年10月8日(金)	区役所701号会議室	22人	①策定の経過と今後のスケジュールについて ②計画案の検討と確定結果：すべて承認された。
3	第6回策定委員会	平成23年1月25日(火)	区役所701号会議室	21人	①策定の経過と今後のスケジュールについて ②計画の確定について ③計画の推進組織と補助制度について ④地域支えあい事業の今後の進め方について 結果：すべて承認された。

2. 地域福祉保健計画区社協担当者会議への出席

	会議名	開催日	開催場所
1	区社協計画担当者会議	平成22年6月1日(火)	横浜市健康福祉総合センター

地域との連携・活動支援

2-3 地域組織との連携、活動推進

1. 自治会町内会との連携

- (1) 磯子区連合町内会長会定例会への参加
定例会に参加し、事業の協力依頼や情報提供を行った。
- (2) いそご区政・福祉活動説明会及び新任自治会町内会会長事務説明会への参加
自治会町内会長や地域福祉活動の担い手を対象に、各種団体の活動を紹介し、募金等への協力・理解を求めた。実施にあたっては、区役所と共催し、区政運営方針などについての説明を合わせて行った。
- 日時／平成22年6月9日(水)午後6時30分～午後8時
 - 場所／磯子公会堂
 - 参加者／200名(うち新任自治会町内会長50名)
 - 内容／日本赤十字社、共同募金会、更生保護協会、社会福祉協議会の活動紹介、新任自治会町内会会長事務の説明ほか

2. 民生委員児童委員協議会との連携

- (1) 磯子区民生委員児童委員協議会委員会への参加
委員会に参加し、事業の協力依頼や情報提供を行った。
- (2) 新任民生委員児童委員研修会への参加
平成22年12月8日(水)の研修会(47名参加)で、区社協事業の説明を行った。

3. 地区社会福祉協議会との連携(前掲)

2-4 関係機関との連携・支援

1. 地域ケアプラザとの連携

- (1) 地域ケアプラザ所長会への参加
区社協事業への協力依頼や情報提供を行った。
- (2) 地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催
地域活動交流事業や地域の課題、区域の課題について検討・情報交換を行った。

	開催日	開催場所	参加者数
1	平成22年5月19日(水)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	9名
2	平成22年7月7日(水)	新杉田地域ケアプラザ	12名
3	平成22年9月1日(水)	屏風ヶ浦地域ケアプラザ	12名
4	平成22年11月17日(水)	新杉田地域ケアプラザ	12名
5	平成23年1月5日(水)	根岸地域ケアプラザ	11名
6	平成23年3月2日(水)	滝頭地域ケアプラザ	10名

- (3) 研修会の実施
「地域ケアプラザコーディネーター研修」(港南区・南区・磯子区の3区合同)
テーマ：ファシリテーション・グラフィック入門講座
講師：青木将幸氏(ファシリテーター)
日時：平成23年3月7日(月)
場所：大岡地域ケアプラザ
参加者：地域コーディネーター、地域包括支援センター看護師・主任ケアマネジャー、社会福祉士、区役所職員、区社協職員等 34名
- (4) 地域ケアプラザ運営協議会への参加
各地域ケアプラザの運営協議会に参加し、事業を把握した。

2. 障害関係機関との連携

- 各種関係会議定例会および運営委員会のメンバーとして参画した。
- (1) 定例会
- 自立支援協議会(年6回)
 - 発達障害児・者地域支援ネットワーク連絡会(年12回)
 - 磯子区障害者地域活動ホーム事業調整委員会(年6回)

- (2) 運営委員会
- 障害者地域作業所 カナン工房
 - いそご活動ホームいぶき
 - 地域活動支援センター 工房タッチ
 - 地域活動支援センター シャロームの家
 - 地域活動支援センター 第2シャロームの家
 - いそご青い鳥・青い鳥第二作業所
 - 中途障害者地域活動センター ウェーブ磯子
 - NPO法人 新 磯子区障害者地域活動ホーム

3-1 地域福祉権利擁護事業

1. あんしんセンターの運営

横浜生活あんしんセンターからの委託を受けて磯子区社協あんしんセンターとして実施した。

- (1) 高齢者および障害者の権利擁護に関する相談調整
 - 新規問合せ・相談対応35名(前年度46名)
- (2) 高齢者及び障害者に対する福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
 - サービス利用契約者数20名(高齢者13名、障害者7名)(前年度19名)
 - ※5名新規契約、4名契約終了
- (3) 高齢者および障害者に対する預金通帳など財産関係書類等預かりサービス
 - サービス利用契約者数7名(高齢者3名、障害者4名)(前年度6名)

2. あんしんセンター広報啓発

あんしんセンターの利用促進のため、次の会合で業務内容を説明した。

会 合 名	開 催 日	人 数
1 高齢者福祉大学	平成22年5月27日(木)	34名
2 ケアマネジャー連絡会	平成23年1月20日(木)	70名

3. 成年後見サポートネットへの参加

事例を通じた成年後見制度活用の検討と関係機関とのネットワークづくりや情報交換を行った。

- 年3回(6月15日、10月12日、2月15日)
- 出席対象者/あんしんセンター職員、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、地域包括支援センター職員、区職員、ケアマネジャー

3-2 送迎サービス

4台のリフト付き送迎専用車両の使用とボランティアの協力により、公共交通機関では外出困難な高齢者、障害者等に対して送迎サービス事業を実施した。

1. 外出支援サービス(横浜市委託事業)

横浜市一般行政サービスとして、外出困難な要援護高齢者及び難病患者を対象に、医療機関や福祉施設等への送迎サービスを実施した(実施回数は下記「月別一覧表」のとおり)。

- 利用登録者数246名(平成23年3月31日現在)

2. 区社協送迎サービス(区社協独自事業)

外出支援サービスの対象とならない外出困難者の送迎サービスを実施した(実施回数は下記「月別一覧表」のとおり)。

月別一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
車種別<1:かたつむり号、2:もりぞ一号、3:いそとんぼ号、4:こがねむし号>													
1	42	42	43	36	41	37	41	44	41	38	29	23	457
2	60	42	64	57	46	50	49	52	31	41	31	27	550
3	46	38	41	48	49	41	49	36	35	37	39	31	490
4	52	47	54	53	44	42	52	42	42	41	48	32	549
計	200	169	202	194	180	170	191	174	149	157	147	113	2046

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目的別< A：医療関係、B：福祉サービス利用、C：行政サービス手続き、D：その他 >													
A	184	149	191	171	160	155	165	160	128	138	136	103	1840
B	8	13	3	12	10	9	14	8	6	9	7	4	103
C	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2	8
D	8	7	8	9	8	6	10	6	15	10	4	4	95
計	200	169	202	194	180	170	191	174	149	157	147	113	2046
利用者別< 高：高齢者(65歳以上)、者：障害者(18～64歳)、児：障害児(18歳未満) >													
高	154	118	155	136	122	121	139	128	105	123	108	86	1495
者	31	37	36	41	40	38	36	32	32	22	30	18	393
児	15	14	11	17	18	11	16	14	12	12	9	9	158
計	200	169	202	194	180	170	191	174	149	157	147	113	2046
うち、外出支援													
	101	90	100	93	84	87	91	85	65	76	67	63	1002

3-3 生活福祉資金貸付

失業などにより困窮した世帯に資金を貸し付けることにより、生活の建て直しを支援した。

1. 貸付件数(貸付決定件数34件、貸付総額 10,493,999円)

(1)生活福祉資金貸付決定件数

	資金名	件数	貸付額合計
内 訳	福祉資金	1	250,000
	教育支援資金	3	1,383,000
	緊急小口資金	7	590,000
	その他	0	0
計		11	2,223,000

(2)不動産担保型生活資金貸付決定件数 0件

(3)要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付決定件数 0件

(4)総合支援資金貸付件数(新規決定件数・貸付額。変更額・増額等は含めない)

	資金名	件数	貸付額合計
内 訳	生活支援費	9	6,046,000
	住宅入居費	2	670,699
	一時生活再建費	5	854,300
計		16	7,570,999

(5)臨時特例つなぎ資金貸付決定件数 6件 貸付額 600,000円

(6)特例・緊急小口資金貸付決定件数 1件 貸付額 100,000円

2. 貸付に関する相談件数(合計件数248件)

- (1)生活福祉資金貸付に関する相談 129件
- (2)不動産担保型生活資金貸付に関する相談 5件
- (3)要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付に関する相談 1件
- (4)総合支援資金貸付に関する相談 95件
- (5)臨時特例つなぎ資金貸付に関する相談 15件
- (6)特例・緊急小口資金貸付に関する相談 3件

3-4 次世代育成・子育て支援

1. 子育て支援活動団体のネットワークの推進

子育て支援関係者連絡会議に平成22年7月から平成23年3月までの7回参加し、子育て支援団体と子育て支援事業実施施設・機関とのネットワークづくりを行った。

2. 子育てサポートシステム事業

地域ぐるみでの子育て支援をめざし、利用会員・提供会員の拡大を図り、子育ての支援を行った。

3 福祉ニーズをもつ区民への支援

3 福祉ニーズをもつ区民への支援

- (1) 会員数(平成23年3月31日現在)
272名(利用会員206名、提供会員50名、両方会員16名)
(2) 活動実績(→32頁【別表4-1】、33頁【別表4-2】参照)
(3) 入会説明会の実施

	開催日	開催場所	参加者数
1	平成22年4月10日(土)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	35名
2	平成22年5月14日(金)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	16名
3	平成22年6月14日(月)	根岸地域ケアプラザ	3名
4	平成22年7月16日(金)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	6名
5	平成22年9月11日(土)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	9名
6	平成22年10月18日(月)	洋光台地域ケアプラザ	21名
7	平成22年11月29日(月)	磯子地域ケアプラザ	11名
8	平成22年12月8日(水)	滝頭地域ケアプラザ	4名
9	平成23年1月13日(木)	磯子地域ケアプラザ	12名
10	平成23年2月17日(木)	新杉田地域ケアプラザ	7名
11	平成23年3月11日(金)	屏風ヶ浦地域ケアプラザ	18名

※その他に個別説明5名

- (4) 会員研修会、会員交流会の実施

① 会員講習会

	開催日	開催場所	参加者数	内容
1	平成22年12月6日(木)	磯子センター 3階会議室3	14名	アロマ・マッサージ&フラワーレ メディ体験講座

② 会員交流会

	開催日	開催場所	参加者数	内容
1	平成22年8月6日(金)	こすもす広場(区福祉保健 活動拠点)多目的研修室	9名	提供会員対象茶話会
2	平成23年3月5日(土)	磯子センター4階 練習室	15名	全会員対象ミニコンサート

3. 交通遺児への支援

- (1) 激励金、見舞金の交付(交通遺児援護基金から支給)
※本年度は実績なし
(2) 善意銀行からの配分(→28頁【別表3】参照)
1件 5,000円

3-5 障害福祉

1. 障害福祉関係会議等支援 (前掲)

2. 学齢障害児余暇活動支援

- (1) 学齢障害児余暇活動支援事業(サマフレ2010)の実施

夏休みの期間中にボランティアや関係機関の協力により、障害児の社会参加の機会と家族のレスパイト(休息)を目的として3日のプログラムで実施した。

次のプログラムをボランティアとともに楽しんだ。

	Aコース	Bコース	Cコース
対象者	知的障害のある 小学1年生～6年生	重度の心身障害のある小学 1年生～高校3年生	区内在学在住の障害の ある中学1年生～高校 3年生
開催場所	① 磯子地域ケアプラザ ② 滝頭地域ケアプラザ	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点)	いぶき、リネット金沢、 杉田ボウル

3 福祉ニーズをもつ区民への支援

	Aコース	Bコース	Cコース
開催日	① 7月29日(木) ② 8月2日(月)	8月5日(木)	① 7月28日(水) ② 8月4日(水) ③ 8月6日(金) ④ 8月11日(水) ⑤ 8月23日(月)
内容	簡単な運動、菓子づくり、DVD鑑賞など ※菓子づくりには区内地域作業所のメンバーが各日3名手伝い。	楽しくからだを動かそう、シーツブランコ、室内ボウリングなど	活動ホーム「いぶき」の日中活動、ボーリング、プール、市電保館見学など
参加者数	① 7名 ② 7名	4名	① 8名② 6名③ 3名 ④ 4名⑤ 3名
ボランティア数	① 16名 ② 10名	7名	① 5名② 4名③ 3名 ④ 4名⑤ 4名

(2) 障がい児者支援ボランティア交流会

磯子区および近隣区で活動する障がい児者支援ボランティアが一堂に会し、ボランティア同士の交流と仲間づくりを図るとともに、さらに交流の輪を広げることを目的に開催。

- 実施日時／平成22年6月23日(水)午前10時～12時
- 場 所／こすもす広場(区福祉保健活動拠点)
- 参加者数／12名
- 内容／保護者からボランティアへのメッセージ
今後の活動に向けてのボランティア同士の意見交換など

3. 学齢障害児余暇支援連絡会の開催

余暇支援事業の内容と今後の事業のあり方について検討し、事業の目的の確認と関係機関の役割分担の整理を行った。

	開催日	開催場所	参加者数
1	平成22年4月27日(火)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)	19人
2	平成22年5月25日(火)		19人
3	平成22年7月15日(木)		14人
4	平成22年10月14日(木)		15人
5	平成22年12月9日(木)		13人
6	平成23年2月2日(水)		12人
7	平成23年3月10日(木)		12人

4. 磯子地区ふれあい運動会への支援

区内の障害児・者を招いて実施する磯子地区のふれあい運動会(第18回)を区域の障害者交流事業として捉え、資金面(善意銀行配分)を始め、区社協事務局が準備から当日の運営に関わった。

- 対 象／区内在住・在勤・在学の障害者とその家族
- 実施日／平成22年5月9日(日)午前9時～午後1時30分
- 場 所／磯子小学校校庭
- 参加者／障害児・者67名、家族・支援者46名

3-6 高齢福祉

1. 年末たすけあい募金の配分(個人)

見守り等の支援を要する、ひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者へ、年末たすけあい配分を行った。

- 配分方法／各地区民生委員児童委員の調査に基づき、各民生委員から対象者へ配分した。
- 配分時期／平成22年12月下旬

3 福祉ニーズをもつ区民への支援	<p>○配分結果／寝たきり高齢者 112名 計224,000円 ひとり暮らし高齢者 2,289名 計2,289,000円 (→22頁【別表2】参照)</p> <p>2. 高齢者慰問事業の実施 9月10日(金)に、区内5ヶ所の特別養護老人ホーム(中原苑、峰の郷、ちくぶ坂下ホーム、新磯子ホーム、たきがしら芭蕉苑)を訪問し祝品を贈呈した。</p>												
	3-7 その他												
	<p>1. 行旅病人への支援 ○行旅病人への支援 49件 計 19,580円</p> <p>2. たすけあい福祉資金の配布 ○小災害罹災者への見舞金の配布 9件 計145,000円</p>												
4 広報啓発事業	4-1 広報紙「福祉いそご」の発行												
	<p>1. 区社協広報紙「福祉いそご」の発行</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">号数</th> <th style="width: 15%;">発行月</th> <th style="width: 15%;">発行部数</th> <th style="width: 60%;">配布先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第55号</td> <td>平成22年10月</td> <td>70,000部</td> <td>区内全戸配布、学校・企業等、各</td> </tr> <tr> <td>第56号</td> <td>平成23年3月</td> <td>70,000部</td> <td>関係機関へ配布</td> </tr> </tbody> </table>	号数	発行月	発行部数	配布先	第55号	平成22年10月	70,000部	区内全戸配布、学校・企業等、各	第56号	平成23年3月	70,000部	関係機関へ配布
	号数	発行月	発行部数	配布先									
	第55号	平成22年10月	70,000部	区内全戸配布、学校・企業等、各									
	第56号	平成23年3月	70,000部	関係機関へ配布									
4-2 ホームページによる広報啓発													
<p>1. ホームページによる情報発信 トップページのトピックスに最新情報を掲載し、講座の参加者募集や行事予定等を発信した。 →URL http://www.isoshakyo.com</p>													
4-3 区社協リーフレットの作成													
<p>区社協の組織、事業活動をPRし、活動推進の一助とするため、区社協リーフレットを作成し、会議等で広く配布した。(作成部数：1,000部)</p>													
4-4 みんな集まれ！ふくしの広場の開催													
<p>健康づくりフェスタ(区役所主催)、磯子地域ケアプラザ10周年まつり(磯子地域ケアプラザ主催)、磯子センターフェスティバル(磯子センター主催)と同日開催だったため、協働してチラシの作成やスタンプラリーを実施した。ふくしの広場には、当日ボランティアスタッフとして、142名の協力により行われた。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">実施日時</td> <td>平成22年10月24日(日)午前9時40分～午後3時</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○オープニングセレモニー(磯子地域ケアプラザと合同) ○アニマルセラピーのデモンストレーションおよびPRコーナー ○障害児訓練会による音楽発表 ○中高生の福祉実践発表 (根岸中、岡村中、サマボラ・サマフレに参加した学生) ○手話講座 ○車イス・視覚障害・聴覚障害・ハンディキャブ車の各種体験コーナー ○共同募金活動(根岸中学校生徒、共募市支会の協力にてあんぱん募金実施) ○障害者地域作業所自主製品、補助犬グッズの販売 ○地区社協主催世代間ときめき交流サロンの実施 ○相談コーナー(ボランティア、あんしんセンター) </td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>こすもす広場(区福祉保健活動拠点)、磯子センター、磯子地域ケアプラザ</td> </tr> </table>	実施日時	平成22年10月24日(日)午前9時40分～午後3時	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○オープニングセレモニー(磯子地域ケアプラザと合同) ○アニマルセラピーのデモンストレーションおよびPRコーナー ○障害児訓練会による音楽発表 ○中高生の福祉実践発表 (根岸中、岡村中、サマボラ・サマフレに参加した学生) ○手話講座 ○車イス・視覚障害・聴覚障害・ハンディキャブ車の各種体験コーナー ○共同募金活動(根岸中学校生徒、共募市支会の協力にてあんぱん募金実施) ○障害者地域作業所自主製品、補助犬グッズの販売 ○地区社協主催世代間ときめき交流サロンの実施 ○相談コーナー(ボランティア、あんしんセンター) 	開催場所	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)、磯子センター、磯子地域ケアプラザ							
実施日時	平成22年10月24日(日)午前9時40分～午後3時												
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○オープニングセレモニー(磯子地域ケアプラザと合同) ○アニマルセラピーのデモンストレーションおよびPRコーナー ○障害児訓練会による音楽発表 ○中高生の福祉実践発表 (根岸中、岡村中、サマボラ・サマフレに参加した学生) ○手話講座 ○車イス・視覚障害・聴覚障害・ハンディキャブ車の各種体験コーナー ○共同募金活動(根岸中学校生徒、共募市支会の協力にてあんぱん募金実施) ○障害者地域作業所自主製品、補助犬グッズの販売 ○地区社協主催世代間ときめき交流サロンの実施 ○相談コーナー(ボランティア、あんしんセンター) 												
開催場所	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)、磯子センター、磯子地域ケアプラザ												

4 広報啓発事業	来場者数	1,467名		
	実行委員会	第1回	平成22年7月1日(木)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)
		第2回	平成22年9月22日(水)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)
	担い手会議	第1回	平成22年8月18日(水)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)
		第2回	平成22年10月7日(木)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)
	反省会(振り返り)		平成22年11月2日(火)	こすもす広場(区福祉保健活動拠点)

5-1 理事会、評議員会、各種部会、分科会等の開催

1. 理事会(計5回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年5月26日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	17名	①平成21年度事業報告並び収支決算について ②監査報告 ③平成21年度福祉保健活動拠点事業報告並びに平成21年度事業計画について ④経理規程の一部改正について 結果：すべて承認された。
2	平成22年7月21日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	15名	①副会長の選任について ②職務代理人の選任について ③評議員の選任について 結果：すべて承認された。
3	平成22年11月29日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	14名	①事務局規程の改正について ②保有文書の公開規程について 結果：すべて承認された。
4	平成22年12月13日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	12名	①評議員の選任について 結果：すべて承認された。
5	平成23年3月24日(木)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	14名	①平成23年度社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会事業計画(案)並びに収入支出予算(案)について ②任期満了に伴う社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会評議員の選任について ③任期満了に伴う社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会顧問の選任について ④任期満了に伴う社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会ボランティアセンターへ運営委員の選任について ⑤社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会部会、分科会及び委員会等設置規程の一部改正について 結果：すべて承認された。

5 法人運営

5
法人運営

2. 監事会(計1回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年5月12日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階点字制作室	4名	平成21年度磯子区社会福祉協議会 事業報告・決算報告 結果：事務執行、経理状況、財産 管理状況について適正と認められ た。

3. 評議員会(計5回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年5月26日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	20名	①平成21年度事業報告並び収支決 算について ②監査報告 ③社会福祉法人横浜市磯子区社会 福祉協議会経理規程の改正につい て ④平成21年度福祉保健活動拠点事 業報告並びに平成22年度事業計画 について 結果：すべて承認された。
2	平成22年7月21日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	15名	①理事の選任について 結果：承認された。
3	平成22年11月29日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	20名	<報告事項のみ> ①事務局規程の改正について ②保有文書の公開規程について ③年末たすけあい募金の配分報告 について ④磯子区社会福祉協議会における 苦情相談受付状況について
4	平成22年12月13日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	15名	①理事の選任について 結果：承認された。
5	平成23年3月24日(木)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	15名	①平成23年度社会福祉法人横浜市 磯子区社会福祉協議会事業計画 (案)並びに収入支出予算(案)につ いて ②任期満了に伴う社会福祉法人横 浜市磯子区社会福祉協議会役員等 の選任について ③任期満了に伴う社会福祉法人横 浜市磯子区社会福祉協議会ボラン ティアセンターへ運営委員の選任 について 結果：すべて承認された。

4. 地域福祉関係団体部会(計2回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月9日(金)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	44名	①本会理事・評議員候補者の選任 について ②平成22年度本会会費の納入につ いて

5 法人運営

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月9日(金)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	44名	③スイッチON磯子Ⅱ素案へのご意見募集について ④みんな集まれ!ふくしの広場の開催について ⑤平成21年度事業報告・決算報告 ⑥平成22年度事業計画・予算報告 結果:すべて承認された。
2	平成23年2月22日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	36名	①前部会長退任に伴う部会長の選任について ②本会理事の任期満了に伴う次期候補者の選出について ③本会評議員の任期満了に伴う次期候補者の選出について ④本会企画委員の任期満了に伴う次期委員の選任について ⑤本会広報紙編集委員の任期満了に伴う次期委員の選任について 結果:すべて承認された。

5. 当事者団体部会(計2回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月14日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階団体交流室	9名	(依頼事項) ①会費の納入について ②スイッチON磯子Ⅱ素案への意見募集について ③ふくしの広場の協力依頼について など (報告事項・その他) ①本会事業報告及び事業計画並びに予算案について ②セフティーネットプロジェクト出前講座の協力について ③各団体の活動状況 など 結果:すべて承認された。
2	平成23年2月18日(木)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	7名	(依頼事項) ①本会理事の任期満了に伴う次期候補者の選出について ②本会評議員の任期満了に伴う次期候補者の選出について ③本会企画委員の任期満了に伴う次期委員の選任について ④本会広報紙編集委員の任期満了に伴う次期委員の選任について ⑤ふれあい運動会の参加依頼について (その他) ①各団体の活動状況について ②情報提供 結果:すべて承認された。

6. 専門機関部会(計2回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月6日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	22名	①磯子区社会福祉協議会評議員候補者の選任について ②広報紙「福祉いそご」編集委員の選任について ③サマボラ2010の実施について ④平成22年度 磯子区社会福祉協議会会費の納入について 結果：すべて了承された。
2	平成23年2月24日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	16名	①本会理事の任期満了に伴う次期候補者の選出について ②本会評議員の任期満了に伴う次期候補者の選出について ③本会企画委員の任期満了に伴う次期委員の選任について ④本会広報紙編集委員の任期満了に伴う次期委員の選任について 結果：すべて了承された。

7. ボランティア・市民活動関係分科会(計5回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年4月13日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階団体交流室	14名	①平成22年度磯子区社協事業計画について ②学齢障害児余暇支援連絡会について ③平成22年度分科会での取り組みについて ④市福祉ボランティア・市民活動部会報告について 結果：すべて承認された。
2	平成22年6月8日(火)	磯子センター 3階第2会議室	14名	①分科会での取り組みについて ・認知症サポーター講座 ・グラウンドゴルフ ②ボランティアセンター開催講座の協力依頼について ③ボランティア保険について ④市福祉ボランティア・市民活動部会報告について 結果：すべて承認された。
3	平成22年9月8日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階団体交流室	15名	①分科会での福祉啓発・交流事業について ②磯子区社協開催講座等へのご案内・協力依頼について(広報啓発事業 みんな集まれ!ふくしの広場・ボランティア体験講座) ③市福祉ボランティア・市民活動部会報告について 結果：すべて承認された。

5 法人運営

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
4	平成22年11月9日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階団体交流室	10名	①分科会での取り組みについて ②第6回グラウンドゴルフ大会の報告について ③その他ボランティアセンター、こすもす広場への意見や要望など ④市福祉ボランティア・市民活動部会報告について 結果：いただいた意見を今後の事業等へ反映させることとした。
5	平成23年2月8日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 5階団体交流室	13名	①理事、評議員の任期満了に伴う次期候補者の推薦について ②ボランティアセンター運営委員の任期満了に伴う次期委員の選出について ③広報紙編集委員の任期満了に伴う次期委員の選出について ④市福祉ボランティア・市民活動部会報告について 結果：すべて承認された。

8. 企画委員会(計1回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月1日(木)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	5名	①善意銀行配分方法の検討 ②年末たすけあい募金配分の配分方法検討 ③「ふくしの広場」の実施会場の変更と効果的内容の検討 結果：①善意銀行と年末たすけあいの一本化については、引き続き検討の必要ありとの意見が出され継続検討となった。 ②原案の概要どおりほぼ承認され、詳細内容については「ふくしの広場」の実行委員会で検討することになった。

9. ボランティアセンター運営委員会(計2回)(再掲)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年7月26日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	13名	①上半期事業の進捗状況報告並びに下半期の事業計画について ②善意銀行信託・配分報告並びに平成22年度第1期配分(案)について 結果：すべて承認された。
2	平成23年2月16日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	9名	①下半期事業の進捗状況報告並びに平成23年度上半期の事業計画について ②善意銀行預託・配分並びに第2期配分(案)について ③社会福祉功労者表彰式および善意銀行配分伝達式について 結果：すべて承認された。

10. 広報紙編集委員会(計4回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年6月15日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	12名	第55号福祉いそごの企画検討
2	平成22年8月23日(月)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 団体交流室	12名	第55号福祉いそごの原稿校正、編集
3	平成22年11月16日(火)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	9名	第55号福祉いそごの振り返り、 第56号福祉いそごの企画検討
4	平成23年1月19日(水)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 多目的研修室	12名	第56号福祉いそごの原稿校正、編集

11. 区社協助成金等運営・配分等委員会(計2回)

	開催日	開催場所	出席者数	主な審議内容・結果
1	平成22年6月21日(月)	磯子センター 3階第2会議室	12名	①委員長、副委員長の選出について ②平成21年度「いそごふれあい助成金」実施報告について ③平成22年度「いそごふれあい助成金」申請審査について 結果：すべて承認された。
2	平成22年11月26日(金)	こすもす広場 (区福祉保健活動拠点) 4階多目的研修室	11名	①平成22年度磯子区社会福祉協議会年末たすけあい募金配分について 結果：すべて承認された。

5-2 会員、渉外

1. 会員の確保

(1) 正会員数(平成23年3月31日現在)及び会費納入結果(単位：円)

区分	会員数	納入額
①第1種会員(公私社会福祉事業施設)	47	460,000
②第2種会員(民生委員児童委員)	214	212,000
③第3種会員(地区社会福祉協議会)	10	50,000
④第4種会員(自治会・町内会)	9	5,471,000
⑤第5種会員(障害者団体等当事者団体)	9	40,000
⑥第6種会員(ボランティア団体・市民活動団体)	19	95,000
⑦第7種会員(その他社会福祉に関係のある団体)	24	115,000
⑧第8種会員(社会福祉関係行政機関)	5	—
⑨第9種会員(社会福祉に関する学識経験者)	2	10,000
合計	339	6,453,000

(2) 賛助会員数及び会費納入結果(単位：円)

区分	件数	納入額
個人	9件	68,000
団体・企業	11件	195,000
合計	20件	263,000

(3) 第4種会員(自治会・町内会)会費地区社協還元費地区別配分結果(単位:円)

	地区名	第4種正会員会費納入結果		地区社協配分額
		世帯数	納入額	
1	根岸	3,957	391,200	195,600
2	滝頭	6,340	634,000	317,000
3	岡村	3,316	331,700	165,850
4	磯子	6,229	623,100	311,550
5	汐見台	2,871	250,500	123,900
6	屏風ヶ浦	9,867	988,700	494,350
7	杉田	8,082	805,900	402,950
8	上笹下連合	5,292	529,200	264,600
9	洋光台	8,692	852,500	398,250
10	上笹下	683	2,200	1,100
11	未加入	678	62,000	0
	合計	56,007	5,471,000	2,675,150

5
法人運営

5-3 事務局運営

1. 区社協苦情解決制度

社会福祉法第82条の趣旨に基づき、苦情解決に向け迅速かつ組織的に対応した。

対応件数: 14件

- <内訳>
- ・日赤社資募集について
 - ・イベント情報が届かなかったことについて
 - ・送迎サービス事業について
 - ・区社協管理の自販機の不具合について
 - ・共同募金運動について(10件)

2. 福祉事業基金

善意銀行の配分金等 90,242円を基金として積み立てた。

基金積立額合計/151,602,842円(平成23年3月31日現在)

- 【内訳】
- 投資有価証券(横浜市債) 140,300,000円
 - 積立預金(定期・普通) 11,302,842円

6
団体事務

6-1 団体事務

各種団体等の事務局として円滑な事業運営に取り組んだ。

- 1 神奈川県共同募金会磯子区支会
- 2 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部磯子区地区委員会
- 3 磯子区赤十字奉仕団
- 4 磯子区更生保護協会
- 5 磯子保護司会
- 6 磯子区更生保護女性会
- 7 磯子区遺族会

平成22年度いそごふれあい助成金団体一覧表

【別表1】

助成区分	交付事業数	助成金交付金額(円)
A ①②③区分	20事業	2,360,000
B ①②③区分	17事業	920,000
C 区分	24事業	576,000
A ④区分：区民児協	1事業	450,000
A ⑤区分：地区社協	50事業	3,630,600
助成総額	112事業	7,936,600

A: 市民参加による地域福祉推進事業【区分:A①・②・③】(計20事業 2,360,000円)

区分	団体名	事業名(内容)	主たる活動日等	交付金額(円)
1 A①	ふれあいランチ	配食サービス	金曜日/毎週 昼	160,000
2 A①	滝頭・岡村地区「愛のお弁当」	配食サービス	金曜日/毎週 昼	160,000
3 A①	根岸地区 愛のお弁当	配食サービス	水曜日/毎週 昼	160,000
4 A①	ふれあい配食サービスキッチン	配食サービス	火～金曜日/毎週 昼	160,000
5 A①	在宅福祉グループ「磯子ねこの手」	ホームヘルプ・家事援助	月～日曜日/毎日	160,000
6 A①	NPO法人 汐見台福祉コミュニティホーム サービス部会 給食サービス	配食サービス	水・金曜日/毎週 昼	160,000
7 A①	上町ボランティア おしゃべり会	デイサービス・サロン 茶話会	10日・20日・30日/毎月	160,000
8 A①	子どもネット・コスモス	小・中学生学習支援ルーム・カウンセリング 相談・フリースペース	火・木・金曜日/毎週	160,000
9 A①	特定非営利活動法人 Enjoyment	一時預かり・送迎(車を使わない)・外出支援	月～土曜日/毎週	160,000
10 A①	特定非営利活動法人 ブライトネス	カウンセリング・相談援助	水曜日/毎週	160,000
11 A①	NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク	カウンセリング・相談援助	3回/月(土曜2回・平日1回)	160,000
12 A①	おやこ広場 ぼっけ	子育て支援広場	水曜日/毎週	160,000
13 A①	コロンブスアカデミー	小中学生の放課後支援	月～金/毎週	160,000
A①条件:実施回数が年36回以上 かつサービス利用者数の「月平均」が10人以上				2,080,000
1 A②	子どもサポートセンターいそっこ	子育てサロン	第4水曜日/毎月	40,000
2 A②	保育サポートグループ ばばぼるへん	子育てサロン	最終月曜日/毎月	40,000
3 A②	みんなのたまり場スペースほっと	デイサービス・サロン	第2・第4火曜日/毎月 他に不定期1回/毎月	40,000
4 A②	特定非営利活動法人 みのりサポート	転倒予防体操教室・サロン	第2・第3火曜日/毎月	40,000
5 A②	根岸地区ボランティアグループ	中途障害者リハビリ教室	第2金曜日/毎月	40,000
6 A②	スマイル キッズ	子育て支援・地域交流サークル	第4月曜日/毎月	40,000
A②条件:実施回数が年10回以上 かつサービス利用者数の「月平均」が5人以上				240,000
1 A③	磯子区録音ボランティア アマリリスの会	視覚障害者支援/録音・誘導・音声訳	第2・第4木曜日他不定期	40,000
A③条件:視覚障害者への音声訳、点訳、拡大写本、誘導で利用者数、回数の条件なし				40,000

B: 障害当事者活動【区分:B①・②・③】(計17事業 920,000円)

区分	団体名	事業名	主たる活動日等	交付金額(円)
1 B①	I. B. C (磯子ポッチャクラブ)	リハビリ教室/スポーツレクリエーション	6回/毎月	160,000
2 B①	B-LINK(きずな)	訓練会/スポーツレクリエーション	土・日曜日(月3・4回)	160,000
B①条件:実施回数が年36回以上かつ1回あたりの当事者の参加が10人以上				320,000
1 B②	げんき会	中途障害者リハビリ教室	第2木曜日/毎月	40,000
2 B②	さざんか会	中途障害者リハビリ教室	第2水曜日/毎月	40,000
3 B②	たんぼほの会	中途障害者リハビリ教室	第3火曜日/毎月	40,000
4 B②	南部シーパラダイス	訓練会 音楽療法	火曜日/(月3～5回)	40,000

平成22年度いそごふれあい助成金団体一覧表

【別表1】

5	B②	ドルフィン	余暇活動	水曜日/毎月(2回)	40,000
6	B②	さつき会 リトミック部	余暇活動(リトミック)	第2日曜日/毎月	40,000
B②条件:実施回数が年10回以上 かつ1回あたりの当事者の参加が5人以上					240,000
1	B③	磯子区肢体障害者福祉協会	余暇活動 日帰り事業	11月 日帰り	40,000
2	B③	グループホームはまゆう	余暇活動 宿泊事業	6月 1泊2日	40,000
3	B③	グループホームアポロ	余暇活動 宿泊事業	6月 1泊2日	40,000
4	B③	磯子区視覚障害者福祉協会	研修事業	6月 1泊2日	40,000
5	B③	グループホーム友の家	余暇活動 宿泊事業	6月 1泊2日	40,000
6	B③	工房タッチ	余暇活動 日帰り事業	9月 日帰り	40,000
7	B③	シャロームの家	余暇活動 日帰り事業	9月 日帰り	40,000
8	B③	第2シャロームの家	余暇活動 日帰り事業	9月 日帰り	40,000
9	B③	ゆっくりいそご(スペース杉田)	余暇活動 ウォーキング	6月 1泊2日	40,000
B③条件:障害当事者やその家族などによる宿泊、日帰りハイク事業 当事者参加が5人以上					360,000

C : 福祉のまちづくり活動 【区分:C】(計24事業 576,000円)

	区分	団体名	事業名	主たる活動日等	交付金額(円)
1	C	神奈川県薬物乱用防止指導員協議会磯子支部	福祉啓発・福祉教育活動	7月・9月 全国的に実施される福祉保健街頭啓発活動	24,000
2	C	磯子区更生保護女性会	福祉啓発・福祉教育活動	2回/年 更生生活啓発「更生保護だより」発行・配布	24,000
3	C	特定非営利法人地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	講演・研修会	土曜日/毎週 各種講座	24,000
4	C	みもざさろん	講演・研修会	不定期	24,000
5	C	磯子区聴覚障害者福祉協会	講演・研修会	9月 聴覚障害者のための講演会	24,000
6	C	磯子区少年野球連盟	青少年福祉教育活動	11月 青少年健全育成・スポーツ振興 少年野球新人戦	24,000
7	C	磯子地区青少年指導員協議会	福祉啓発・青少年福祉教育活動	2月 文化伝承、異世代交流「地区はねつき大会」羽子板作成・競技	24,000
8	C	磯子日本語教室	日本語ボランティア(国際交流)	木曜日/毎週 外国人を対象にした日本語学習	24,000
9	C	ふれあいサークル「かめ」	手話サークル	6・8・10・2月/ 昼間 聴覚障害者を講師にした講演	24,000
10	C	手話サークル「海」	手話サークル	7・11・2月/ 夜間 聴覚障害者を講師にした講演	24,000
11	C	磯子区青少年指導委員協議会	異世代交流・青少年福祉教育活動	いそごどもまつり2010	24,000
12	C	杉田地区ボランティアグループ	施設活動支援・障害者団体活動支援	金曜日/毎週、第3火曜・第2月曜/毎月ほか	24,000
13	C	洋光台地区ボランティアグループ	施設活動支援・障害者団体活動支援	第2・第4水曜/毎月ほか	24,000
14	C	こすもす会	施設活動支援・障害者団体活動支援	火・水・木/毎週 第1・第3月・第2金曜/毎月 土曜日/月2回	24,000
15	C	滝頭地区ボランティアグループ文月会	施設活動支援・障害者団体活動支援	火・木/毎週 第1火/毎月 第4月/毎月	24,000
16	C	磯子精ボ会	精神障害者支援	月～金/毎週 すみれ会支援、作業所給食作り、サロン・相談	24,000
17	C	NPO法人 横浜市民アクト	子育て支援	9～11月 子育て中の母親ための交流会、体験教室など	24,000
18	C	洋光台駅前公園プレイパーク運営委員会	街づくり異世代交流活動	第2木曜、第3水曜/月	24,000
19	C	磯子区精神保健家族会なぎさ会	福祉啓発・福祉教育活動	毎月/たよりの発行	24,000
20	C	根岸日本語教室	日本語ボランティア(国際交流)	土/毎週	24,000
21	C	絆	高齢者交流支援	2回/年(調理) 3回/年(ウォーク)	24,000
22	C	磯子区ジュニアリーダーズクラブ	研修会	1月上旬	24,000
23	C	ライフプラン学習会ワイワイ花の土曜日	環境活動・高齢者交流	第1土曜/毎月	24,000
24	C	スマイル・ティーンズ	障害児余暇活動	12・2・3月(年3回)	24,000
C条件: 福祉、保健、医療、国際交流、人権擁護、施設ボランティア、まちづくり、災害救援、青少年の健全育成などを市民参画型で行う事業。講演会、研修会、福祉まつりなどの単発イベント/1回あたりの参加者が5人以上					576,000

平成22年度いそごふれあい助成金団体一覧表

【別表1】

区分	団体名	事業名	主たる活動日等	交付金額(円)	
1	A④	磯子区民生委員児童委員協議会	各地区民児協活動PR「ホームーン」毎月更新、機関紙「民児協いそご」年2回発行	毎月/年12回 広報紙年2回発行	450,000
A④条件：民生委員児童委員協議会が実施する地域福祉推進事業への助成				450,000	
1	A⑤	根岸地区社会福祉協議会	一人暮らし高齢者昼食会(見守り・サロン活動)	第3木曜/毎月	195,000
2			広報紙発行事業	毎月発行	40,000
3			一人暮らし高齢者慰問事業(個別訪問・安否確認)	12月	47,000
4			地域組織団体事業助成	6月	55,000
地区合計				337,000	
5	A⑤	滝頭地区社会福祉協議会	一人暮らし高齢者対話集会(会食会 見守り・サロン活動)	毎月	134,100
6			滝頭地区親子ふれあいフェスタ	11月下旬	50,000
7			地区社協活動事例報告会	3月下旬	30,000
8			地域防犯・防災事業 講習会「災害に備える 障害者ともに」	7・8・9・10月	29,000
9			介護予防 身体も脳もリフレッシュ	毎月	50,000
10			地域組織団体事業助成	6月	153,000
地区合計				446,100	
11	A⑤	岡村地区社会福祉協議会	高齢者対策事業「高齢者のつどい」郷土料理を食べて、思いっきり語ろう	6・11月	50,000
12			広報紙発行事業	1月発行	25,000
13			老若男女発表会 第4回久良岐まつり	10月	50,000
14			県外少年交流事業 第18回山と緑の体験事業	7月	50,000
15			地区文化祭助成事業 (高齢者・児童の作品展 示・表彰 活動発表・さわやかスポーツ)	10月	50,000
16			地区研修事業	9月	40,000
17			地域組織団体事業助成	9月	40,000
地区合計				305,000	
18	A⑤	磯子地区社会福祉協議会	ユーアイ給食会	毎月	207,250
19			磯子地区ふれあい運動会	5月	50,000
20			地域組織団体事業助成	6月	179,750
地区合計				437,000	
21	A⑤	汐見台福祉実行委員会	ふれあい昼食会 (ひとり暮らし高齢者交流事業)	7月	50,000
22			講習会(コミュニケーションと知識向上)	11月	30,000
23			中高年の健康づくり	毎月2回	50,000
24			バスハイク(高齢者交流事業)	6月	50,000
25			ボランティアの会	毎月	10,000
26			地域組織団体事業助成		24,000
地区合計				214,000	

平成22年度いそごふれあい助成金団体一覧表

【別表1】

区分	団体名	事業名	主たる活動日等	交付金額(円)
27	A⑤ 屏風ヶ浦地区社会福祉協議会	高齢者給食事業	毎月1回	195,000
28		敬老事業(高齢者地域交流事業)	9月	50,000
29		福祉啓発研修会(地域福祉の意識向上)	9・12月	29,000
30		福祉講演会「社会復帰について」(知的・精神障害者福祉・施設見学)	10月上旬	50,000
31		夏祭り地域交流会	8月	32,000
32		地域組織団体事業助成		240,000
			地区合計	596,000
33	A⑤ 杉田地区社会福祉協議会	一人暮らし高齢者食事会(見守りサロン活動)	10・11・12月	93,500
34		子育て支援事業「ブーケ」	第3金曜日/毎月	20,000
35		研修会 (杉田地区社協理事の資質の向上と情報交換)	12月	20,000
36		地域組織団体事業助成	9月	180,000
			地区合計	313,500
37	A⑤ 上笹下連合社会福祉協議会	一人暮らし高齢者ふれあい昼食会(見守り・サロン活動)	毎月(第2木曜日)	243,000
38		広報紙発行事業(上笹下連合地区社協だより)	9・3月発行	50,000
39		地域異世代交流事業「土とのふれあい体験」	5・6・7・8・11月	50,000
40		子育て支援事業	毎月(第1火曜日)	30,000
41		地域組織団体事業助成	6月	20,000
			地区合計	393,000
42	A⑤ 洋光台地区社会福祉協議会	一人暮らし高齢者昼食会(見守り・サロン活動)	7・11・1月	125,000
43		パソコン講座(初級・中級)	毎週月曜日・水曜日	50,000
44		福祉講座「手話講座」	隔月	30,000
45		地区老人会演芸大会(高齢者地域交流・文化事業)	6月	30,000
46		一人暮らし防災安心袋作成配布	2月	50,000
47		地域組織団体事業助成		112,000
			地区合計	397,000
48	A⑤ 上笹下地区社会福祉協議会	ふれあい昼食会	毎月第2木曜日	107,500
49		異世代交流ハイキング&バーベキュー	11月	28,500
50		地域組織団体事業助成	7月	56,000
			地区合計	192,000
A⑤条件：地区社協の実施する地域福祉推進事業への助成				3,630,600

平成22年度 年末たすけあい募金配分内訳

総計	要援護世帯	2,401件	2,513,000円
	施設・団体	68件	2,125,000円

1 要援護世帯(計10件 2,513,000円)

区分	ねたきり高齢者		ひとり暮らし高齢者	
単価	2,000円		1,000円	
	件数	配分金額	件数	配分金額
合計	112	224,000	2,289	2,289,000

2 保育関係

学童保育(計10件 90,000円)

	名称	配分金額(円)
1	屏風ヶ浦学童保育所ちびっこクラブ	9,000
2	汐見台学童保育はまっこクラブ	9,000
3	あおぞら学童クラブ	9,000
4	上中里学童保育	9,000
5	学童保育所磯子クラブ	9,000
6	滝頭地区学童保育	9,000
7	あおぞら第二学童クラブ	9,000
8	杉田学童保育所	9,000
9	新杉田学童保育所	9,000
10	杉田学童保育所	9,000

3 ボランティア関係

(1) ボランティアグループ(計16件 400,000円)

	名称	配分金額(円)
1	根岸地区ボランティアグループ	25,000
2	滝頭地区ボランティアグループ	25,000
3	杉田地区ボランティアグループ	25,000
4	上笹下地区ボランティアグループ	25,000
5	洋光台地区ボランティアグループ	25,000
6	録音ボランティア「アマリリスの会」	25,000
7	ふれあいサークル「かめ」	25,000
8	手話サークル 海	25,000
9	こすもす会	25,000
10	磯子精ボ会	25,000
11	学び合いと仲間づくり協議会	25,000
12	TBYC(トブック)	25,000
13	子どもサポートセンターいそっこ	25,000
14	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	25,000
15	NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク	25,000
16	子どもネット・コスモス	25,000

【別表 2】

(2) 高齢者食事サービス活動(計 7 件 175,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	根岸地区社会福祉協議会	25,000
2	磯子地区社会福祉協議会	25,000
3	屏風ヶ浦地区社会福祉協議会	25,000
4	杉田地区社会福祉協議会	25,000
5	上笹下連合社会福祉協議会	25,000
6	上笹下地区社会福祉協議会	25,000
7	森が丘ボランティアグループ	25,000

(3) 配食サービスグループ(計 1 件 25,000 円)

1	汐見台福祉コミュニティ給食サービス	25,000
---	-------------------	--------

4 当事者関係

(1) 当事者グループ(計 9 件 225,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	磯子区肢体不自由児者父母の会	25,000
2	磯子区手をつなぐ育成会	25,000
3	磯子区視覚障害者福祉協会	25,000
4	磯子区聴力障害者福祉協会	25,000
5	磯子区肢体障害者福祉協会	25,000
6	障害児訓練会 さつき会	25,000
7	磯子区精神保健家族会 なぎさ会	25,000
8	障害者の自立と文化を拓く会 ラーバ	25,000
9	「集」保護者会	25,000

(2) 障害児地域訓練会(計 2 件 30,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	すてっぷ	15,000
2	さつき会幼児保育部	15,000

5 社会福祉施設・作業所等

(1) 中途障害者活動センター(計 1 件 50,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	ウェーブ磯子	50,000

(2) 機能強化型障害者地域活動ホーム(計 1 件 50,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	磯子区障害者地域活動ホーム	50,000

(3) 障害者地域作業所(計 12 件 720,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	青い鳥第二作業所	60,000
2	いそご 青い鳥	60,000
3	工房タッチ	60,000
4	シャロームの家	60,000
5	第2シャロームの家	60,000
6	障害者地域活動センター きょうの会	60,000
7	障害者地域活動センター 第二きょうの会	60,000
8	スペース杉田	60,000
9	ワークホームラクーン	60,000
10	横浜ろばの店	60,000
11	どーなつ	60,000
12	らいくす	60,000

(4) 障害者グループホーム(計 9 件 360,000 円)

	名 称	配分金額(円)
1	下宿屋	40,000
2	友の家	40,000
3	はまゆう	40,000
4	ヒルズひばり	40,000
5	楷の木荘	40,000
6	アポロ	40,000
7	コアラ	40,000
8	ヒューハウス	40,000
9	にれの木	40,000

【別表3-1】

平成22年度 善意銀行金銭預託結果 (単位:円)

I 社会福祉(計40件 908,755円)

* 敬称略

氏名(団体名)		預託金額	氏名(団体名)		預託金額
1	磯子区社協窓口募金箱	953	21	中央労働金庫杉田支店推進幹事会	30,000
2	日清オイリオグループ(株)	100,000	22	太田俊子	1,614
3	畠中正夫	1,000	23	滝頭地区子供会連絡協議会	10,000
4	磯子区合同歓送迎会実行委員会	15,262	24	畠中正夫	1,000
5	磯子区みんよう連盟	21,339	25	磯子みんよう連盟	7,352
6	谷川音治	100,000	26	部落解放同盟 嘉藤民男	100,000
7	ユリフラワー川上教室	50,187	27	(株)ネダテ住建	103,823
8	畠中正夫	1,000	28	うなぎ屋一同	75,156
9	岡村西部第一・第二・第三自治会子ども会	10,000	29	上笹下地区社会福祉協議会	10,997
10	「ヨコハマはG30」クリーンいそご推進本部	4,200	30	JX日鉱日石エネルギー労働組合根岸支部	17,585
11	汐見台地区民生委員児童委員協議会	5,000	31	小菌江秀子	10,000
12	神奈川県土木一般労働組合南横浜支部	43,700	32	匿名	611
13	神奈川県土木一般労働組合南横浜支部・磯子商店街商業組合浜マーケット	24,000	33	いそごふるさと寄席実行委員会	10,000
14	日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜みなと地区横浜第114団	5,000	34	磯子区新年賀詞交歓会実行委員会事務局	4,895
15	区社協窓口募金箱	858	35	横浜学園高等学校生徒会	50,000
16	日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜第94団	10,000	36	望月恵智子	10,000
17	横浜市磯子センター(南部市場販売分)	23,790	37	磯子区社協窓口募金箱	2,000
18	横浜市磯子センター(フリーマーケット販売分)	17,210	38	畠中正夫	1,000
19	こどもフリーマーケット	10,300	39	磯子まつり振興委員会	13,923
20	畠中正夫	1,000	40	磯子区社協窓口募金箱	4,000

II 障害者福祉(計2件 55,000円)

氏名(団体名)		預託金額	氏名(団体名)		預託金額
1	望月恵智子	5,000	2	新井泰輔	50,000

III 高齢者福祉(本年度は実績なし)

IV 児童福祉(本年度は実績なし)

V 希望配分(計9件 397,360円)

氏名(団体名)		預託金額	氏名(団体名)		預託金額
1	杏舟吟詠会	100,000	6	笠原邑子	11,111
2	吉田修	100,000	7	IHI労働組合連合会横浜支部	119,027
3	NPO市民ハート	30,000	8	ダビンチ基金	5,000
4	笠原博満	11,111	9	吉田修	10,000
5	柏木啓次郎	11,111			

預託件数 総合計 51件	預託金額 総合計 1,361,115円
--------------	---------------------

平成22年度 善意銀行預託金配分結果

I 社会福祉(計33件 1,124,000円)

		団体名	配分金額(円)
1	ボランティアグループ (区社協会員)	録音ボランティア「アマリスの会」	13,000
2		朝の会	13,000
3		ふれあいサークル「かめ」	13,000
4		手話サークル「海」	13,000
5		学び合いと仲間づくり協議会	13,000
6		こすもす会	13,000
7		磯子精ボ会	13,000
8		磯子かたつむりの会	13,000
9		子どもサポートセンターいそっこ	13,000
10		TBYC(トブック)	13,000
11		NPO法人地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	13,000
12		NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク	13,000
13		子どもネット コスモス	13,000
14		ボランティアグループ 連絡協議会(@23,000×5グループ)	115,000
15	ボランティアグループ (区社協非会員)	横浜おもちゃ箱	5,000
16		いそご人形劇くらぶ	5,000
17		さくら会	5,000
18		ニコニコ探検隊	5,000
19		洋光台ボランティア	5,000
20		虹の会	5,000
21		にじいろ応援団	5,000
22		磯子パソコンレスキュー隊	5,000
23		手づくり製本の会	5,000
24		この指とまれ	5,000
25		プア・カーネーションズ	5,000
26		TKR楽団	5,000
27		横浜市大正琴愛好会コスモス	5,000
28		特定非営利活動法人 つむぎ会	5,000
29		青いことりの会	5,000
30	区社協	災害ボランティアネットワーク事業(前年度配分として)	45,000
31		送迎事業(前年度配分として)	270,000
32		広報紙発行事業(前年度配分として)	180,000
33		サマーボランティア事業(前年度配分として)	270,000

【別表 3 - 2】

II 障害者福祉(計35件 522,000円)

団体名		配分金額(円)	
1	障害者団体	磯子地区社会福祉協議会 ふれあい運動会	80,000
2		磯子区肢体不自由児父母の会	13,000
3		磯子区手をつなぐ育成会	13,000
4		磯子区視覚障害者福祉協会	13,000
5		磯子区聴力障害者福祉協会	13,000
6		磯子区肢体障害者福祉協会	13,000
7		障害児訓練会 さつき会	13,000
8		磯子区精神保健家族会 なぎさ会	13,000
9		障害者の自立と文化を拓く会 ラーバ	13,000
10		「集」保護者会	13,000
11	訓練会	すてっぷ	13,000
12		さつき会幼児保育部	13,000
13	地域活動ホーム	磯子区障害者地域活動ホーム	13,000
14		中途障害者地域活動センター ウェーブ磯子	13,000
15	地域作業所	いそご 青い鳥	13,000
16		青い鳥第二作業所	13,000
17		どーなつ	13,000
18		ワークホームラクーン	13,000
19		横浜ろばの店	13,000
20		らいくす	13,000
21		工房タッチ	13,000
22		シャロームの家	13,000
23		第2シャロームの家	13,000
24		スペース杉田	13,000
25		障害者活動センター きょうの会	13,000
26	障害者活動センター 第二きょうの会	13,000	
27	グループホーム	友の家	13,000
28		はまゆう	13,000
29		コアラ	13,000
30		アポロ	13,000
31		下宿屋	13,000
32		楷の木	13,000
33		にれの木	13,000
34		ヒルズひばり	13,000
35		ヒューハウス	13,000

【別表3-2】

Ⅲ 高齢者福祉(計9件 194,000円)

団体名		配分金額(円)	
1	ひとり暮らし高齢者給食会等	根岸地区社会福祉協議会	18,000
2		滝頭地区社会福祉協議会	22,000
3		岡村地区社会福祉協議会	16,000
4		磯子地区社会福祉協議会	22,000
5		汐見台地区福祉実行委員会	15,000
6		屏風ヶ浦地区社会福祉協議会	29,000
7		杉田地区社会福祉協議会	25,000
8		上笹下連合社会福祉協議会	20,000
9		洋光台地区社会福祉協議会	27,000

Ⅳ 児童福祉(計11件 55,000円)

団体名		配分金額(円)	
1	学童クラブ	屏風ヶ浦学童保育所"ちびっこクラブ"	5,000
2		汐見台学童保育はまっこクラブ	5,000
3		あおぞら学童クラブ	5,000
4		上中里学童保育	5,000
5		学童保育所磯子クラブ	5,000
6		滝頭地区学童保育	5,000
7		あおぞら第二学童クラブ	5,000
8		杉田学童保育所	5,000
9		新杉田学童保育所	5,000
10		ぽによぽによ学童クラブ	5,000
11		交通遺児(1名)	5,000

Ⅴ 希望配分先(計10件 353,000円)

団体名		配分金額(円)
1	録音ボランティア「アマリリスの会」	9,000
2	洋光台地区社会福祉協議会	90,000
3	福祉基金	90,000
4	録音ボランティア「アマリリスの会」	27,000
5	地域共生をめざす市民団体「楷の木」	10,000
6	磯子精ボ会	10,000
7	磯子ねこの手	10,000
8	磯子区肢体不自由児父母の会	43,000
9	精神保健を考える市民団体 さざなみ会	32,000
10	磯子区肢体障害者福祉協会	32,000

配分金総計 計98件	2,248,000
------------	-----------

平成 22 年度 善意銀行物品預託・配分結果

《物品》

* 敬称略

	氏名(団体名)	預託物品	配分先
1	田島一也	掛け布団	磯子区社会福祉協議会
2	NPO法人横浜市民アクト	古切手一式	磯子区障害者地域活動ホーム
3	松原 竹雄	将棋セット(36箱)	滝頭地域ケアプラザほか
4	田中 龍子	押し花アート	磯子区社会福祉協議会
5	匿名	中古電動ミシン	布おもちゃ磯子
6	岸本 文恵	ぬいぐるみ(約900個)	(調整中)
7	磯子郵便局	古切手一式	磯子区障害者地域活動ホーム
8	匿名	幼児用おもちゃ一式	磯子区社会福祉協議会

《金券》

	氏名	預託物品	配分先
1	匿名	テレフォンカード(@500×177枚) 図書券(@500×44枚) 文具券(@500×4枚)	・共同の家プラン (女性の自立支援施設) ・磯子区社会福祉協議会

平成22年度 子育てサポートシステム事業 報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助の内容	1 提供会員宅預かり(利用会員送迎)	3	0	0	0	2	1	2	1	7	3	1	0	20
	2 提供会員宅預かり(提供会員送迎)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	5
	3 利用会員宅預かり	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	6
	4 保育所・幼稚園等の送り	0	0	13	6	0	4	0	0	9	0	0	0	32
	5 保育所・幼稚園等の迎え	3	2	2	0	0	1	4	17	13	3	6	0	51
	6 保育所・幼稚園等の登園前の自宅預かりと送り	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	7 保育所・幼稚園等の迎えと帰宅後の預かり(提供会員宅)	4	23	16	5	3	7	22	17	12	15	10	8	142
	8 保育所・幼稚園等の迎えと帰宅後の預かり(利用会員宅)	8	5	5	13	7	7	8	7	7	6	4	11	88
	9 学童下校後の預かり(提供会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 学童下校後の預かり(利用会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11 学童保育の迎え	4	4	3	7	10	6	7	8	4	2	6	4	65
	12 学童保育の迎えと帰宅後の預かり(提供会員宅)	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	13 学童保育の迎えと帰宅後の預かり(利用会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14 提供会員宅預かりと学童保育の送り(夏・冬休み等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15 小学校登校前の預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16 小学校下校後の預かり	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	17 習い事・塾の送迎	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	5
	18 その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		計	32	37	39	32	24	26	43	51	52	32	31	26
援助の理由	1 保護者等の就労の場合の援助(常勤)	28	36	26	25	20	23	37	40	32	27	27	19	340
	2 保護者等の就労の場合の援助(短時間・臨時的)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	4	8
	3 保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 保護者等の病気介護、その他休養の場合の援助	2	0	0	0	0	1	0	0	6	1	0	0	10
	5 保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事等の場合の援助	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	6 保護者等の買い物等の外出、リフレッシュなどの援助	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	7 保育所・幼稚園等、学校の休みの時の援助	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	8 保育所・幼稚園等、入所前の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 子どもの病気(前・後)時の援助	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
	10 保護者等同伴での子どもの通院の付き添い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11 産前・産後の援助	0	0	13	6	0	0	4	10	0	0	0	0	0
	12 その他	0	1	0	1	0	0	1	1	14	2	2	0	22
	計	32	37	39	32	24	26	43	51	52	32	31	26	425
援助時間	～1時間	18	23	29	26	17	19	24	32	34	13	18	11	264
	1～2時間	3	14	10	5	6	6	10	8	4	6	5	1	78
	2～3時間	2	0	0	1	0	1	8	11	7	4	2	2	38
	3～4時間	5	0	0	0	0	0	1	0	7	8	5	10	36
	4～5時間	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5～6時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～7時間	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	7～8時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～9時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9～10時間	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	4
	10～11時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11～12時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	32	37	39	32	24	26	43	51	52	32	31	26	425
利用会員数(子供の人数)		11	7	6	6	5	7	7	8	10	11	8	5	91
提供会員数		10	8	5	6	5	6	7	9	8	9	7	5	85

平成22年度 子育てサポートシステム事業 報告

(キャンセル件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助の内容	1 提供会員宅預かり(利用会員送迎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 提供会員宅預かり(提供会員送迎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 利用会員宅預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 保育所・幼稚園等の送り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 保育所・幼稚園等の迎え	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	6 保育所・幼稚園等の登園前の自宅預かりと送り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 保育所・幼稚園等の迎えと帰宅後の預かり(提供会員宅)	2	0	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0	9
	8 保育所・幼稚園等の迎えと帰宅後の預かり(利用会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 学童下校後の預かり(提供会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 学童下校後の預かり(利用会員宅)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	11 学童保育の迎え	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	12 学童保育の迎えと帰宅後の預かり(提供会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13 学童保育の迎えと帰宅後の預かり(利用会員宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14 提供会員宅預かりと学童保育の送り(夏・冬休み等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15 小学校登校前の預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16 小学校下校後の預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17 習い事・塾の送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	0	2	1	1	3	1	2	2	0	0	0	14
援助の理由	1 保護者等の就労の場合の援助(常勤)	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	4
	2 保護者等の就労の場合の援助(短時間・臨時的)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	3 保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 保護者等の病気介護、その他休養の場合の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事等の場合の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 保護者等の買い物等の外出、リフレッシュなどの援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 保育所・幼稚園等、学校の休みの時の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8 保育所・幼稚園等、入所前の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9 子どもの病気(前・後)時の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10 保護者等同伴での子どもの通院の付き添い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11 産前・産後の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	0	2	1	1	3	1	2	2	0	0	0	14
援助時間	～1時間	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	4
	1～2時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2～3時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4～5時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～6時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～7時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7～8時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8～9時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9～10時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～11時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11～12時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2	0	2	1	1	3	1	2	2	0	0	0	14
利用会員数(子供の人数)		1	0	1	1	1	3	1	2	1	0	0	0	11
提供会員数		1	0	1	1	1	2	1	2	1	0	0	0	10

平成22年度 磯子区災害ボランティアネットワーク活動報告

1. 平成22年度総会の開催

- (1)日時 平成22年6月3日(木)午後6時30分～午後7時40分
 (2)会場 磯子区役所7階会議室
 (3)議題 平成21年度活動報告・収支決算報告、理事の選出、平成22年度活動計画・収支予算
 (4)結果 理事については代表に山本和廣氏、副代表に古知屋多恵子氏、竹内照雄氏、
 会計に三浦遼氏、監事に中島満佐氏・菊池文江氏が就任。その他全て了承された。

2. 役員会の開催

	開催日	主な内容等
1	4月6日(火)	平成22年度活動計画・活動予算の検討、22年度総会の開催について協議
2	5月11日(火)	平成21年度活動報告・平成22年度活動計画、平成21年度収支決算・平成22年度収支予算の検討
3	5月25日(火)	臨時会(総会に向けての最終調整)
4	6月8日(火)	今年度の活動計画に基づき、重点活動の協議
5	7月13日(火)	「ニーズの把握」について検討、「磯子区ボランティアグループ連絡会」との交流会
6	8月10日(火)	「災ボラセンター設置・運営」「啓発パネル展」「各地域防災訓練」「団体会員との交流」について
7	9月14日(火)	「防災フェスタ」「磯子地域活動フォーラム」について
8	10月12日(火)	「4団体防災フェスタ」「港南区と共催(ニーズ研修)」について、区老連「いきいきクラブ」との交流会
9	11月9日(火)	1月開催の「災ボラセンター設置・運営訓練」概要の検討、3者(区/社協/災ボラ)会合について、「障害関連施設関係者」との交流会
10	11月22日(月)	第2回臨時会(第8回役員会の継続審議)
11	12月14日(火)	「災ボラセンター設置・運営訓練」に向けて検討、審議
12	1月11日(火)	「その前に一緒に練習しましょう！」と題し「災ボラセンター設置・運営訓練」の事前訓練を役割分担・作業手順を中心に実施
13	2月8日(火)	1月17日「災ボラセンター設置・運営訓練」記録の整理、参加者へのフィードバックについて
14	3月8日(火)	次年度の活動計画について、新年度の役員体制について協議

3. 全体会の開催

	開催日	主な内容等
1	7月13日(火)	磯子区社会福祉協議会の活動概要について、今年度活動計画について、各部会にて検討
2	9月14日(火)	トランシーバーを利用して、ニーズ聞き取り訓練を中心に行った。
3	11月9日(火)	勉強会「区内障害関連施設関係者との意見交換会」を開催。 参加施設：いぶき、ロバの家、集、はまゆう
4	11月9日(火)	1月19日に実施予定の「災ボラセンター設置・運営訓練」(「その前に一緒に練習しましょう！」と題し、事前訓練を役割分担・作業手順を中心に行う。)に先立ち、災ボラ会員で運営の事前訓練実施 (磯子区NPO連絡会の交流訪問対応と、訓練への参加協力)

4. ボランティアネットワーク・運営シミュレーション

	開催日	主な内容等
1	9月14日(火)	1月19日(火)に実施予定の「災ボラセンター設置・運営訓練」に先立ち、災ボラ会員で運営の事前訓練。トランシーバーを利用して、ニーズ聞き取り訓練を中心に実施。
2	1月17日(火)	『災ボラセンター設置・運営訓練』 区役所管理職員の参加を求め、管理職員を応援ボランティアに見立てたシミュレーション。ボランティア受付・登録から派遣送り出しを実施した。

5. 市または他区への災害ボランティアネットワーク・運営シミュレーション参加状況

	開催日	主な内容等
1	12月14日(土)	港北区シミュレーション
2	1月18日(火)	磯子区役所災害訓練
3	1月20日(木)	鶴見区シミュレーション
4	2月6日(日)	金沢区災ボラ訓練
5	2月15日(火)	港南区災ボラ設立総会
6	2月19日(日)	栄区災ボラシミュレーション

6. 地域防災拠点の訓練参加

- 地域防災拠点運営委員会連絡協議会 6月15日(火)
- 磯子地区連合町内会防災訓練 8月29日(日)
- 地域防災拠点事業検討会 10月29日(木)
- 区災害対策本部訓練「防災とボランティア週間中の防災訓練」 1月18日(火)
- 杉田小防災拠点「避難・運営訓練」 2月20日(日)
- 浜小学校地域防災拠点の防災訓練 2月27日(日)
- 森中学校防災拠点「避難・運営訓練」 2月27日(日)

7. 広報活動

- 「磯子区災ボラ」ホームページにて「磯子災ボラ便り」を随時発行した。
- 「防災啓発パネル展」実施 8月30日(月)～9月3日(金)
- 「磯子区まつり防災フェスタ」参加 10月23日(土)
- 「いそご地域活動フォーラム2010」参加 11月27日(土)
- 森東小学校 パネル展 1月16日(日)
- 「防災啓発パネル展」実施 1月17日(月)～1月21日(金)
- 新杉田公園「防災フェスティバル」 3月26日(土)

8. その他

各種研修会・講演会、交流会、訓練会に積極的に参加した他、横浜市災害ボランティアネットワーク会議や研修等へ出席した。

平成22年度 福祉保健活動拠点事業報告書

1 施設名

横浜市磯子区福祉保健活動拠点

2 事業報告

(1) 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

福祉保健活動拠点を安心して利用でき、福祉保健活動団体の財産となるよう心がけ、設備の故障等により不便をかけることのないよう、維持管理に努めました。

<開館時間>

・午前9時から午後9時まで（年末年始12月29日から1月3日を除く）開館しました。（10月から、日曜・祝日は午前9時から午後5時まで）

<建物・設備の保守点検、小規模修繕>

日々の職員による日常点検と、年間を通じて委託業者により専門的な定期点検を実施し、施設や設備の不具合がないよう努めました。

空調設備保守点検	年4回（ポンプ保守点検を含む）
電気設備保守点検	年12回
昇降機保守点検	年24回
自動ドア保守点検	年4回
消防設備保守点検	年2回
害虫駆除保守点検	年6回
空気環境測定	年4回

<清掃業務の内容>

総合管理の一環として、日常清掃、定期清掃の実施により施設内の美化に努めました。

日常清掃（毎日2回）

定期清掃（月1回）

ジュータン清掃（7月、1月 計2回）

窓ガラス清掃（4月、10月計2回）

照明器具清掃（2月 計1回）

清掃箇所：多目的研修室、団体交流室、点字制作室、録音室、対面朗読室、湯沸室、トイレ、廊下、エレベーターホール、階段

<警備業務について>

総合管理の一環として専門業者に委託し、施設内の安全確保に努めました。

毎日 20時30分～翌日9時

日曜・祝日 17時～翌日9時

イ 苦情受付体制について

<苦情受付体制・方法>

「磯子区社会福祉協議会苦情解決」並びに規則に基づく「苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付の体制を整えました。

<苦情への対応手順>

受付担当者－苦情解決責任者－苦情解決調整委員という流れにより苦情解決にあたりました。

(苦情解決調整委員は、法律・福祉・人権の各分野の方に依頼し、上記仕組みの中で対応できなかった場合の対応や苦情解決にかかわる助言をいただき、円滑な解決、サービスの改善に努めているものです。)

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

施設内に上記の仕組みについての掲示を行うとともに、窓口とホームページ上にご意見箱を設置し、苦情を出しやすい環境作りに努めました。

横浜市社協における苦情解決システムのほか、横浜市福祉調整委員会、運営適正化委員会等の苦情申し出窓口があることを情報提供しました。

<利用調整会議の開催>

年に1度利用調整会議を開催し、利用登録団体からの拠点利用に関する苦情を含めたご意見をいただく機会としました。(9月開催)

<苦情件数> 0件

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<連絡体制、マニュアルの整備状況>

施設内、法人内、市社協ならびに区との連絡体制や「事故・緊急対応マニュアル」を整え災害時に備えました。

<職員の役割分担>

「事故・緊急対応マニュアル」に沿い、職員の役割を明確にし緊急時に備えました。

<地域や関係機関との連携体制>

災害ボランティア連絡会の事務局として、災害時に支援が必要な人へのボランティア窓口についての体制を検討するため、定例会を開催しました。(毎月)

<事故防止への取組>

「事故・緊急対応マニュアル」の読みあわせを職員全員で行い、事故発生時のシミュレーションを行いました。

<避難訓練への取組>

磯子センターと合同で避難訓練を行いました。(9月、3月実施)

エ 個人情報保護の体制及び取組について

<マニュアルの整備状況>

「横浜市個人情報の保護に関する条例」並びに「社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会が保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報の保護に努めました。

<職員への周知>

横浜市が行う個人情報保護に関する研修を受講し、意識啓発並びに体制整備を行い個人情報の保護に努めました。

<日常の取り組み>

各業務にて取り扱う個人情報の確認を行うとともに、ファイルや電子データについても個人情報に配慮した適切な保存を行いました。

オ 環境への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランに基づき、ごみの少量化、再資源化に努めました。

<ゴミの発生抑制に関する取り組み>

職員間の情報共有はネットワーク上で行うなどペーパーレス化を図りました。利用者にはゴミの持ち帰りにご協力いただきました。

<再利用・再使用に関する取り組み>

コピー等に裏紙使用を徹底しました。
分別ボックスを配置し、徹底した分別回収を行い、再資源化につなげました。

<リサイクルに関する取り組み>

消耗品等（コピー用紙、コピー機トナーカートリッジ、トイレトーパー等）は、リサイクル製品を利用しました。
利用団体に呼びかけてペットボトルのフタを回収し、再資源化する「エコキャップ推進ネットワーク」の活動に役立てました。

<温室効果ガス排出抑制に関する取り組み（グリーン購入、室温設定等）>

空調の適切な温度設定や、こまめな消灯に努めました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

職員配置について、役割を考慮した適正な配置を行い、人件費の効率的な執行を行いました。

常勤職員：1名（管理者と兼務）

非常勤職員：2名（日中：ボランティアセンター業務7時間、夜間：拠点管理業務4時間）

イ 職員の研修計画について

日常業務において、OJTを実施し、外部（市社協主催等）の研修にも積極的に参加し、法人職員としての資質向上・専門性の向上に努めました。

常勤職員が救急法の研修を受講し、緊急時に対応できるような体制づくりに努めました。

ウ 職員の情報共有の方法、連携等について

- ・ 毎朝、職員の行動予定、業務の進捗状況・課題について共有するためのミーティングを行いました。
- ・ 月1回全職員での会議を行い、法人事業全体について情報共有し、課題の検討を行いました。
- ・ また、ボランティアセンター事業については、別に月1回全担当職員でのミーティングを行い、情報共有と事業の円滑な実施について検討しました。
- ・ 職場内LANを活用し、職員全員で情報を共有しました。
- ・ 日中担当職員と夜間担当職員との情報共有は、日誌を活用し申し送りをしました。

(3) 事業内容

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

磯子区では、「地域のつながりの再構築」のため、活動やサロンにかかる「場」づくり、担い手や次世代育成など「人のネットワーク」を意識的に作り出していくことが福祉活動の課題となっています。

- ・ 課題解決に向け、磯子区社協の広報紙「福祉いそご」に、地域福祉団体・施設の活動紹介や「福祉保健活動拠点」でのボランティアセンターの取り組みを特集し、広く区民に周知し、福祉活動推進の理解・啓発を行いました。
- ・ 福祉保健の拠点として、人材や情報の登録、コーディネート・人材育成・知識、ニード情報の発行、相談窓口の開設、ボランティア講座の開設など、情報の総合的提供を行いました。
- ・ 利用調整会議を開催し、拠点の利用方法の確認や、サービス向上に向けての要望確認、団体間の情報交換による交流を図りました。（再掲、9月開催）
- ・ 広い視点でボランティアの担い手育成を目的とした福祉教育の場として、「ふくしの広場」を実施しました。（10月開催）
- ・ 職員を担当地区に分け、地域福祉保健計画や地区社協の会議・事業に出席し、課題把握を行いました。

イ 関係団体・機関等、ボランティア団体・当事者団体、地域団体との交流・連携について

- ・地域福祉を協働で推進してため、地域の福祉関係団体・機関、ボランティア団体、当事者団体、地域団体等が、本会の主催する会議や各団体が主催する会議・事業に参加することで、交流・連携を図りました。

本会会員の団体は、各種部会・委員会・連絡会での情報交換や、事業協力等を行い交流・連携を深めました。

□関係団体・地域福祉団体・ボランティア団体

地域組織関係団体部会の開催（年2回）

ボランティア・市民活動関係分科会の開催（年5回）

区ボランティアグループ連絡協議会への参加（毎月1回）

区連合町内会長会定例会・区民生委員児童委員協議会委員会への参加（年10回）

各団体、自治会・地区社協で行われる行事への参加

□当事者団体

当事者団体部会の開催（年2回）

子育て支援ネットワーク連絡会への参加（年7回）

□福祉関係施設、機関

専門機関部会の開催（年2回）

地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催（年6回）

自立支援協議会、発達障害児・者支援者ネットワークへの参加

市民参加型福祉団体連絡会への参加（年4回）

ふれあい型配食サービス連絡会への参加（年3回）

- ・各団体や地域住民との交流を目的とした、「グラウンドゴルフ大会（10月）」を開催しました。
- ・関係団体・機関、ボランティア団体・当事者団体、地域団体（地区社協）が一丸となって次世代の担い手育成を目的とする「ふくしの広場（10月開催）」を開催し交流を図りました。

ウ ボランティアに関する情報の提供及びその活用について

- ・ボランティアセンターの活動紹介、ボランティアグループの紹介、ボランティア講座情報等を掲載した社協・ボランティア情報誌「福祉いそご」を発行、区内全戸配布のほか、学校・企業・施設等へも配布しました。
 - ・年2回発行 各70,000部
- ・ボランティアセンターに寄せられたニード（ボランティア依頼内容）等をまとめた「ボランティアニード情報」を発行し、個人登録者、施設等へ送付しました。
 - ・定期情報 年4回発行 各600部
 - ・臨時情報 年2回発行 各600部
- ・ホームページを活用し、ボランティア講座やニード状況等を、積極的に情報発信しました。（URL <http://www.isoshakyo.com>）
- ・拠点入り口にパンフレットラックを設置し、最新のボランティア情報や地域のイベント情報の提供を行いました。

エ ボランティアの育成・支援

- ・ ニーズに対応した各種ボランティア講座を実施しました。
 - ・ ボランティア講座「～できることから、ボランティア～」 (参加者 25名)
 - ・ 精神保健福祉ボランティア入門講座 (参加者20名)
 - ・ 磯子区災害ボランティアネットワーク勉強会『災害ボランティアセンターの役割と基本的理解～』 (参加者21名)
 - ・ 磯子区災害ボランティアシミュレーション 第1回(会員のみ 参加者30名)
 - ・ 磯子区災害ボランティアシミュレーション 第2回(区役所管理職協力 参加者96名)
 - ・ ボランティア・市民活動関係分科会主催・認知症サポーター養成研修(参加者 24名)
- ・ ボランティア同士の仲間づくりを進め、さらなる活動の促進と、新規ボランティアの確保のため、ボランティア交流会を開催しました。
 - ・ グラウンドゴルフ(参加者44名)
- ・ ボランティアグループ連絡協議会の活動支援を行いました。(年12回)

オ ボランティアに関する相談・紹介業務

- ・ ボランティアに関する相談
専任のボランティアコーディネーターを全開館日(12/29～1/3 年末年始を除いた全日 359日 9時～17時)に配置し、「ボランティアを必要としている人の相談」「ボランティア活動をしたい人の相談」「その他ボランティアに関する相談」に応じ、また情報提供を行いました。

相談件数 計 373件

- ・ ボランティアの活動紹介と需給調整(コーディネート)
ボランティア活動希望者には、希望内容により具体的なボランティアの活動先を調整・紹介しました。またボランティア保険について周知し受け付けました。
 - ・ ボランティア登録者(H23年3月末日現在) 個人640名
団体65グループ
 - ・ ボランティアコーディネート依頼件数(新規依頼) 106件
 - ・ ボランティアコーディネート(紹介人数) 334人

カ メールボックス、ロッカーの貸出業務

メールボックス、ロッカーの貸し出しについては、利用登録団体の希望により配置しています。22年度も希望通り配置できました。

・メールボックス数	36	利用メールボックス数	22
・ロッカー数	32	利用ロッカー数	31

キ 地域福祉（保健）計画地区別計画の推進への取り組みについて

職員を担当地区に分け、支援チームの一員としてそれぞれの会議に出席するとともに情報収集、情報提供を行い、計画の推進を支援するとともに、行政、ケアプラザとの連携を図り地区情報の収集に努めました。

ク 貸し館の利用実績及び利用促進の取組について

<貸し館の利用実績>

<施設の利用促進の取組について>

	利用件数	利用率
団体交流室	223件	20.6%
多目的研修室	325件	30.2%
点字製作室	165件	15.3%
録音室	231件	21.4%
対面朗読室	337件	31.3%

平成22年度 福祉保健活動拠点収支決算書

施設名：磯子区福祉保健活動拠点

(自)平成22年4月1日
(至)平成23年3月31日

(単位：円)

	積算内訳	金額	
収入	指定管理料収入	16,005,100	
	その他収入		
	利用料	71,230	
	参加費	10,500	
	法人からの補助	9,030	
	収入合計(A)	16,095,860	
支出	人件費	9,767,776	
	事業費	460,177	
	管理費		
	日常管理・事務費	875,177	
	光熱水費	976,876	
	小破修繕費	66,150	
	委託業務費	3,566,684	
	消費税	383,020	
	支出合計(B)	16,095,860	
	収支 (A) - (B)	指定管理料残額は市に戻入	0